

三重県における小児在宅医療にかかる 連携体制構築の取組について



三重県保健医療計画(第5次改訂)

(計画期間:平成25~29年度)

人材確保	医師、看護師、 その他の保健医療関係従事者
5疾病	がん対策、脳卒中対策、 急性心筋梗塞対策、糖尿病対策、 精神疾患対策
5事業 +在宅医療	救急医療対策、災害医療対策、 へき地医療対策、周産期医療対策、 小児救急を含む小児医療対策 、 在宅医療対策
その他	結核、感染症対策など

三重県保健医療計画（第5次改訂）

課題

医療依存度の高い小児の在宅医療への移行が進む中、本県では、小児に対応できる訪問看護ステーションや重症児を受け入れる**レスパイト施設が不足**。

方向性

医療従事者や保健・福祉関係者等が連携し、限られた社会資源を活用し地域での相談、療育など**総合的な支援体制を構築する**。

取組

長期療養児の在宅療養への円滑な移行に向け、三重大学医学部附属病院小児在宅医療支援部を中心に小児在宅支援施設ネットワーク体制の構築に取り組みます。

三重県における小児在宅医療の取組状況

	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
地域医療再生基金による事業	小児在宅医療支援ネットワーク構築事業 小児在宅医療研修提供事業				
			小児在宅医療支援ネットワーク構築強化事業 小児在宅医療研修提供拡充事業		
国委託事業			小児等在宅医療連携拠点事業		
地域医療介護総合確保基金による事業					小児在宅医療・福祉連携事業
					小児等在宅医療連携拠点事業

三重県地域医療再生計画（平成23年度策定）

事業期間：平成23～25年度

●小児在宅医療支援ネットワーク構築事業

専属スタッフによる在宅訪問機能を備えた小児在宅支援センターを設置し、次の取組を行う。

- 関係機関との連携構築、情報提供体制の整備
在宅医療を必要とする子どもの実態把握
- 総合相談窓口の役割
- 地域連携・訪問支援事業（人材支援実践講義、講演会等）
- 「小児在宅医療の手引き」の作成

●小児在宅医療研修提供事業

かかりつけ医、訪問看護師等に対する知識習得のための研修を実施する。

小児等在宅医療連携拠点事業

(平成25、26年度厚生労働省委託事業)

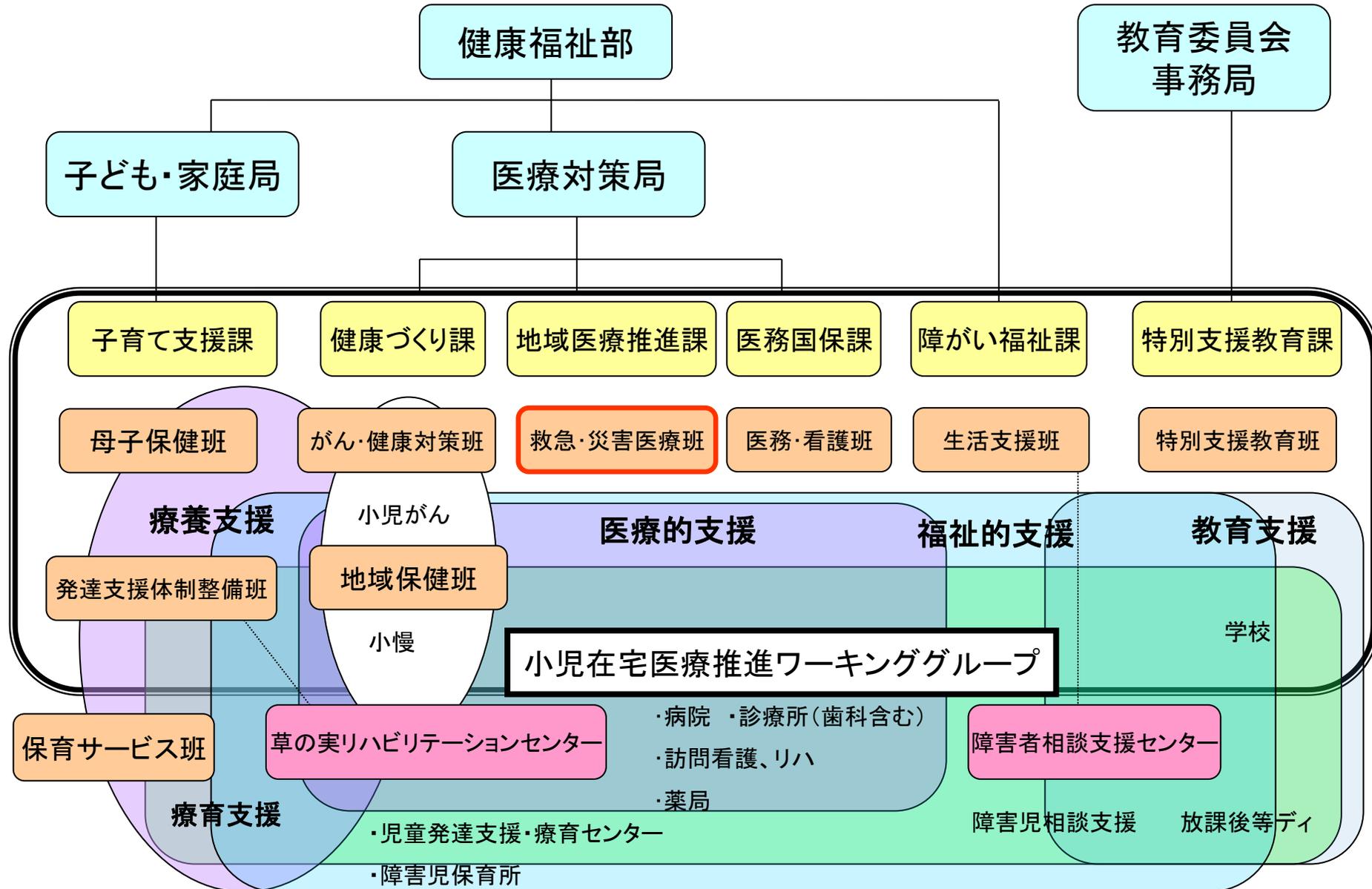
事業目的

NICUで長期療養を要した児を始めとする在宅医療を必要とする小児等が、在宅において必要な医療・福祉サービスが提供され、地域で安心して療養できるよう、**福祉や教育などとも連携し**、地域で在宅療養を支える体制を構築する。

事業内容

- 1 小児等の在宅医療が抱える課題の抽出と対応方針の策定
- 2 地域の医療・福祉資源の把握と活用
- 3 地域の小児等への在宅医療資源の拡充と専門機関との連携
- 4 地域の福祉、行政関係者との連携促進
- 5 患者・家族の個別支援
- 6 患者・家族や学校関係者等への理解促進・負担軽減

三重県庁内ワーキンググループ組織図 (平成25年度)



小児等在宅医療支援体制図

(事業委託)

三重県

三重大学医学部附属病院

小児病棟

小児科：
小児外科：

血液疾患、悪性疾患、循環器疾患、重症疾患など
炎症性腸疾患、胆道系疾患、固形腫瘍など

新生児集中治療室 新生児治療回復室

低出生体重児
重症先天性心疾患
先天性横隔膜ヘルニア
食道閉鎖
小腸閉鎖
泌尿器疾患 など

小児トータル ケアセンター

センター長 (医師)
副センター長 (看護師)
センター員 (看護師)
センター員 (MSW)
センター員 (事務員)
*CLS# センター兼務

医療福祉

支援センター

患者相談
退院・前方支援など
臨床心理士配置

がんセンター

緩和ケアチーム

連携

退院

患児・家族

在宅診療・訪問看護
在宅医療支援・相談窓口

小児専門リハビリテーションセンター
訪問看護ステーション
訪問看護リハビリステーション
小児関連医療機関
訪問歯科・薬局
保健機関・行政・福祉機関・学校

#CLS:Child Life Specialist

地域の福祉・行政関係者等との連携促進（平成26年度）

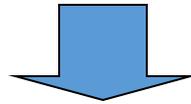
- 県庁内小児在宅推進ワーキンググループ定例会
月1回定期開催一部署間情報共有・事業案討議
- 地域保健師への研修・アンケート調査
医療的ケアを要するこどもの把握・課題について調査票作成
- 相談支援専門員への研修
研修に向けた県庁内ワーキンググループでの勉強会
講師：千葉県 医療法人社団麒麟会 谷口由紀子様
福祉と医療の連携を深めるための研修会
- 福祉関係事業所へのアンケート調査実施
日中一時支援事業所（236箇所）
放課後等デイサービス事業所（85箇所）

モデル地区事業

モデル地区の選定

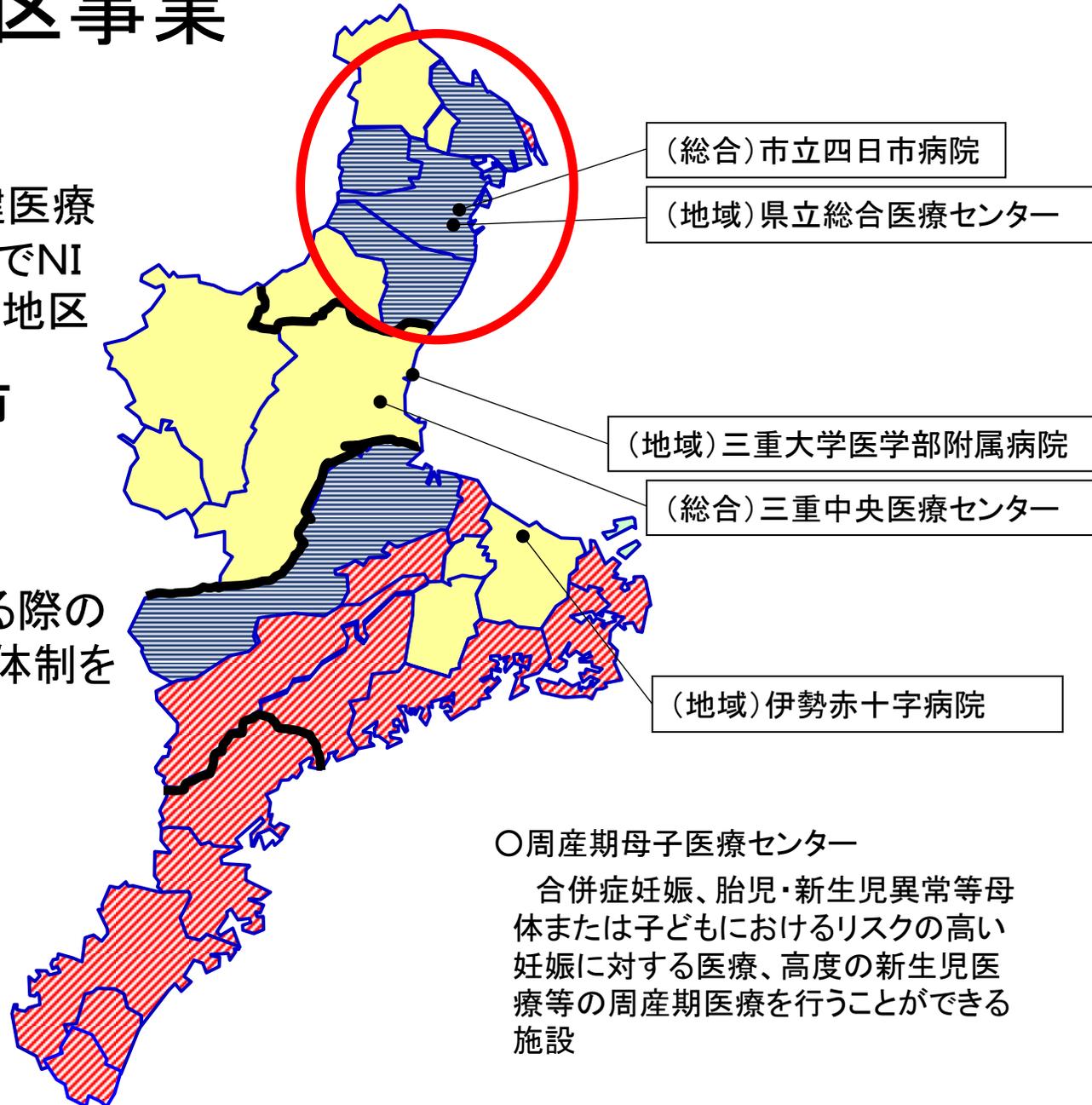
出生率が高い北勢保健医療圏(県内出生の約5割)でNICU病院を有していない地区

⇒ **桑名市・鈴鹿市**



NICU病院から退院する際の地域との連携を含めた体制を構築する必要がある

平成23年出生率(対千人)



事業実施体制図

三重県

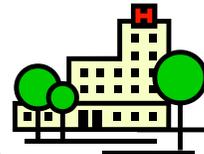


- 三重県の活動
- ・関係者連絡会議の調整
 - ・在宅医療推進懇話会の開催

定期的意見交換

連携・対策

三重大学医学部附属病院
小児トータルケアセンター



行政機関

小児科を持つ
病院・有床診療所

小児専門リハビリテーション
センター

訪問看護ステーション
訪問看護リハビリステーション

診療所
(歯科含む)

既存事業

- 小児トータルケアセンターでの活動
- ・小児在宅研究会の開催(4回/年)
 - ・患儿家族等への相談窓口設置(電話相談含む)
 - ・訪問看護・診療(緩和ケア含む)の実施
 - ・学生実習指導(医学生/看護学生)

支援

相談

福祉サービス

学校

小児医療専門機関



行政機関

小児科を持つ
病院・有床診療所

診療所
(歯科含む)

訪問看護ステーション
訪問看護リハビリ
ステーション

訪問薬局

モデル地区

新規事業

- 小児トータルケアセンターでの活動
- ・モデル地区に対する支援
 - ・訪問看護ステーション及び訪問看護リハビリステーションへの研修・支援
 - ・診療所・医療機関等との連携・研修・支援
 - ・学校教諭・看護師への医療的ケア研修
 - ・保健機関・福祉サービス提供施設支援
 - ・医療福祉関係者等への相談窓口の設置(電話相談含む)
 - ・小児在宅関連施設実態調査(アンケート)

モデル地区の活動

- ・訪問事業の実施
- ・関係機関との連絡調整
- ・各会議への代表者の参加

モデル地区事業の参加機関(事業開始当初)

桑名市

桑名地域小児在宅医療検討委員会

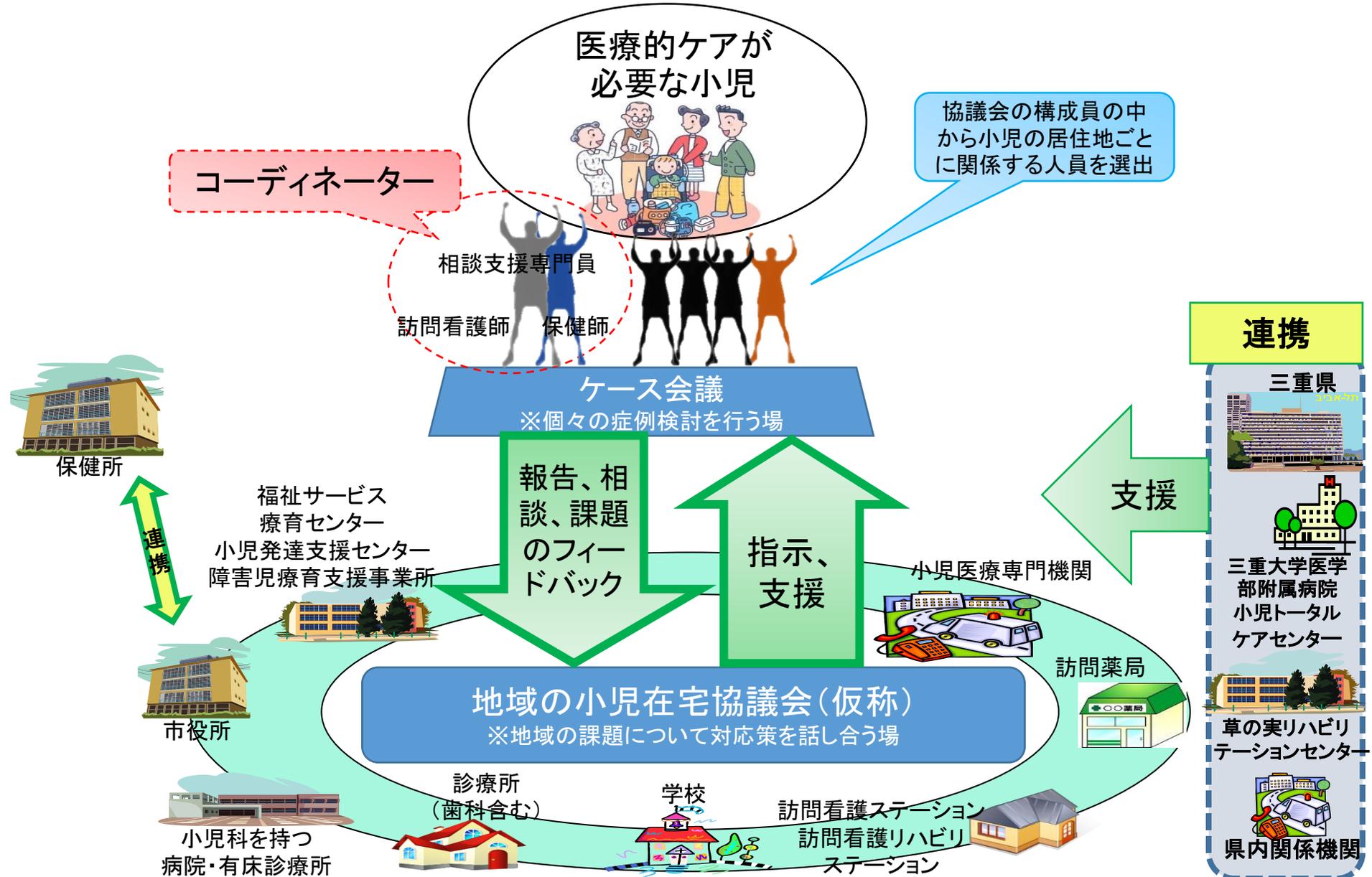
- ・桑名医師会
- ・桑名市総合医療センター
- ・市立四日市病院
- ・愛知厚生連海南病院
- ・三重県訪問看護ステーション連絡協議会
桑名ブロック(ナーシングホームもも)
- ・MCサポートセンターみっくみえ
- ・桑名市(主任児童委員部会、医療対策課)
- ・桑名保健所

鈴鹿市

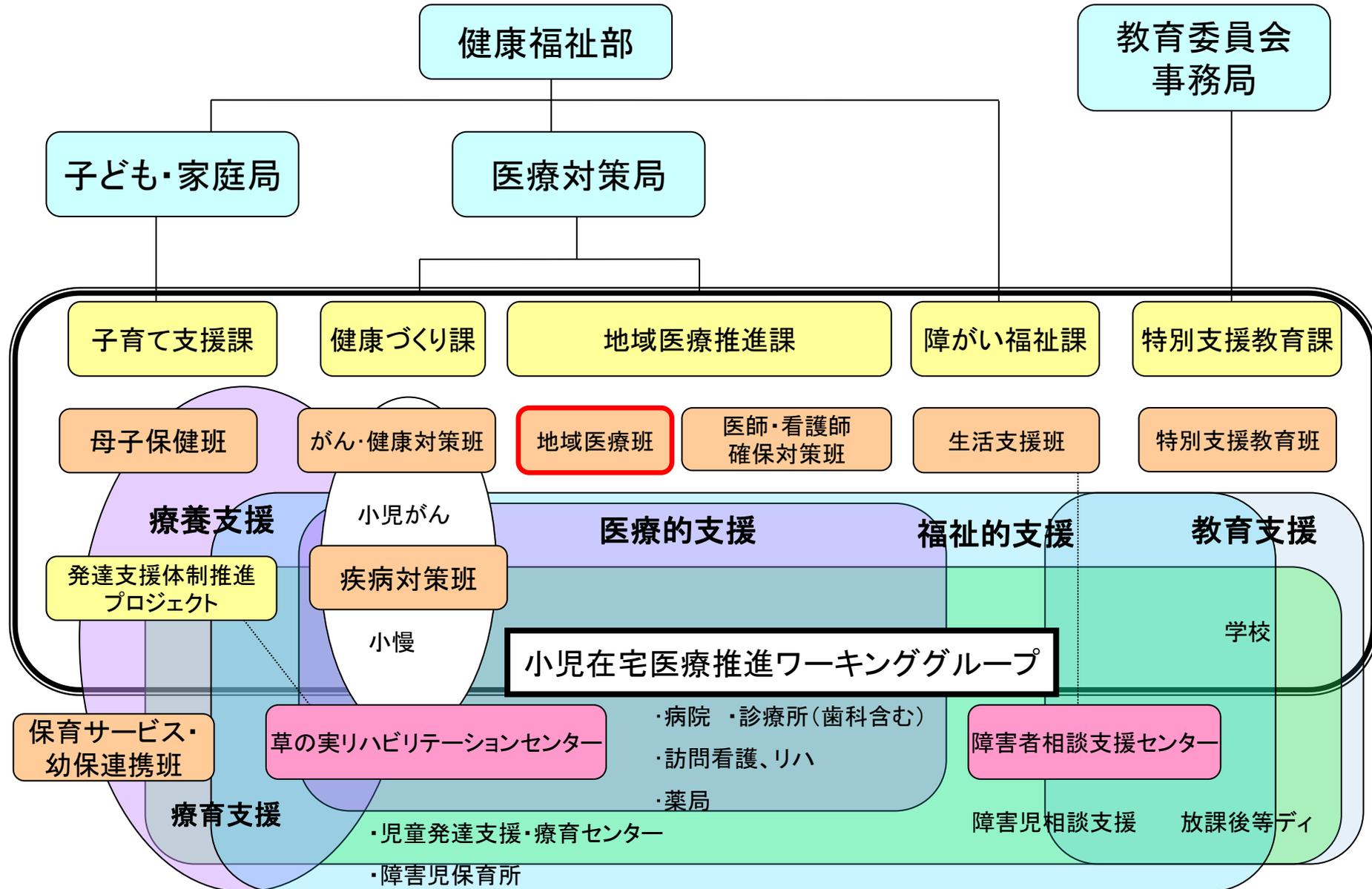
鈴鹿地区小児在宅多職種会議

- ・鈴鹿市医師会
- ・鈴鹿亀山薬剤師会
- ・鈴鹿中央総合病院(地域連携室、訪問看護ステーション)
- ・訪問看護リハビリステーション桜
- ・草の実リハビリテーションセンター
- ・鈴鹿市社会福祉協議会(療育センター)
- ・鈴鹿市(健康づくり課、障害福祉課、子育て支援課、教育委員会指導課)
- ・鈴鹿保健所

地域での連携体制のイメージ



三重県庁内ワーキンググループ組織図 (平成27年度)



地域の福祉・行政関係者等との連携促進(平成27年度)

●小児在宅医療・福祉連携事業

①小児在宅医療・福祉連携体制整備事業

地域における医療と福祉の連携体制の整備や、小児在宅支援に関わる資源開発等を行う。

②レスパイト・短期入所体制整備事業

医療依存度の高い重症児のレスパイト・短期入所を実施する施設の体制整備や家族支援を行う。

●小児等在宅医療連携拠点事業

①多職種連携体制構築事業(協議会、症例検討会等の開催)

②人材育成事業(スキルアップ研修会等の開催)

③普及啓発事業(講演会等の開催、印刷物等による情報提供)

モデル地区での連携体制の現状

桑名市

桑員地域(2市2町)障がい福祉
担当課長会議の開催(H27.2.4)

- ①医療型発達支援センター設置について
検討
- ②地域の関係者からなるネットワーク組織
の立ち上げ検討

⇒「e-ケアネットそういん」の設立

桑員地域小児在宅ケア支援ネットワーク
設立記念講演会(H27.5.31)

※27年度の活動内容

事例検討と勉強会(参加している多職種の知識を共
有し共通言語化を目指す)

e-ケアネットそういん会議(H27 8/9、10/4、12/20)

鈴鹿市

鈴鹿市小児等在宅医療にかかる
行政機関等連携会議の開催
(H27.8.4、H27.12.11)

参加機関

鈴鹿市医師会、障害者総合支援センター、鈴鹿市社
会福祉協議会(療育センター)、訪問リハビリステー
ション、訪問看護ステーション、鈴鹿保健所、鈴鹿市
(子ども家庭支援課、児童保育課、障害福祉課、健
康づくり課)、鈴鹿医療科学大学

※27年度の活動内容

- ・対象児の把握(ニーズ調査、対象数・対象児の内容
の把握)
- ・情報提供のあり方
- ・事例について情報共有と検討

医療・福祉連携体制の構築に向けた課題

1 連携体制の確認と他地域への展開

- 連携体制が実働するかどうか、症例を通じた確認と必要な修正
- 多職種・多機能連携体制構築のための継続的な人材育成
- 資源が豊富でない地域における工夫
- モデル地域における取組等の情報発信

2 家族の視点に立った支援

- レスパイト体制の拡充
- 医療的ケアが必要な児の利用可能な福祉事業所の拡充
- 親同士のネットワークづくり(相談体制づくり)への支援

3 (高齢者)在宅医療との連携

- (高齢者)在宅医療における課題の抽出と共通事項の確認
- 地域医療構想における位置づけ

平成28年度以降の取組の方向性

- これまでの取組の成果を踏まえるとともに、小児在宅医療の推進に係る県計画に基づき、医療・福祉等が連携することにより課題の解決に向けて引き続き取組を進めます。
 - 希望がかなうみえ 子どもスマイルプラン
 - 健やか親子いきいきプランみえ(第2次)
 - みえ障がい者共生社会づくりプラン
 - 三重県特別支援教育推進基本計画
- 庁内ワーキンググループの活動をさらに充実させるとともに、市町や関係機関との連携の充実・強化を図り、小児在宅医療の取組を県内各地に広げていきます。